

木更津市長 渡辺芳邦様

子どもが健やかに育つまちに関する要望書

昨今、子どもを取り巻く環境は、変化しており、子どもが巻き込まれる痛ましい事件もよく耳にします。

いのちが守られ、大切にされることで安心していきることができます。

いじめられたり、乱暴されたりしたら助けてもらえると安心して生きることができます。

自分らしさが大切にされたり、心や体を休ませる時間を持てると、自分らしく生きることができます。

学んだり、遊んだり、スポーツや自然に親しむと、心豊かに育ちます。

つらい気持ちになったり、困ったとき、周りの人に伝えてたすけてもらえると、自分は大切にされる存在なんだと思うことができ、自己肯定感が育ちます。

自分の考えや意見が大切にされると、自分の意見を表すことができます。

自分の意見が理解されると、ほっとします。そうすると、困ったときもまた話しやすい関係性が築けます。

これらの相乗効果で子どもの自己肯定感が育ちます。

そこで、子どもが健やかに育つよう、木更津市の今後の行政運営をすすめるうえで、下記のように要望します。

1. 虐待などの市民からの通報は、市民が気軽に通報できるようによびかけを行う。時間外・休日の場合は 24 時間対応の連絡先も併用してよびかけること。
2. 準要保護児童・生徒に対する就学援助の新入学用品費の支給日を入学前に行うこと。
3. 子どもの声を騒音とを感じる方への配慮も必要だが、過度に子どもの活動を委縮させたり、また保育士に過大な負担をかけないようにすること。

平成 29 年 6 月 6 日

きさらづ市民ネットワーク
代表 田中紀子